

環境技術実証モデル事業に関する意見・要望等（大阪府）

実証機関の公募申請

項目	大阪府の意見・要望
公募、契約等について	実証試験に長期間を要する環境技術については、4月に実証機関選定、5月に契約と実証技術の募集といった余裕のあるスケジュールが必要。

実証試験計画の策定

質問項目	大阪府の意見・要望
実証試験計画のばらつきについて	<p>実証試験計画は、実証試験実施要領で定められた範囲内で、実証機関が作成することとなっている。大阪府では技術実証委員会及びその委員から助言を得ながら、実証試験要領に示されていない詳細な点について検討・策定した。</p> <p>試験コストの負担の問題も含め、同様の技術であっても、実証機関によって異なる試験計画が策定されうると考えられる。これは実証試験実施場所の制約等からやむを得ないことであり、本事業はこのような実証機関による相違を、ある程度まで認めることを前提とした方がよいのではないか。</p>

その他事業全般について

質問項目	大阪府の意見・要望
試験の経費について	実証試験計画の緻密さと試験コストとのバランスを考慮した実証試験要領が必要ではないか。（例えば、本格的な実証試験要領と、技術毎の簡易版実証試験要領）